



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2012年（平成24年）6月15日号 No. 1564

## 目次

■ <b>ロシア石油産業の最新動向</b> .....	1
—2011年の生産実績と業界再編の予兆—	
■ <b>トピックス</b> .....	9
第5回日露投資フォーラム開催される／9	
ソラーズいすゞがトラック生産開始／10	
ジャトコ、ロシア向け自動変速機の初取引／10	
OKIのプリンタ、ロシアで最優秀賞受賞／10	
サハリンに住宅資材輸出／10	

## ロシア石油産業の最新動向 —2011年の生産実績と業界再編の予兆—

### はじめに

当会発行の『ロシアNIS調査月報』では、毎年5月号において、前年のロシアの石油生産量を、生産企業別に詳しく紹介している。しかし、本年の5月号では紙幅の都合で同データを掲載できなかった。若干時機を逸してしまっただが、この2011年のロシアの詳細な石油生産データを、今号の速報で紹介したい。また、ここに来てロシアの石油業界では、BPがロシアでの合弁「TNK-BP」から撤退する方向となり、その受け皿として国営石油会社ロスネフチが取沙汰されるなど、業界再編の予兆が生じている。そこで以下では、生産データの紹介と絡めながら、業界再編の問題にも簡単に言及したいと思う。

### 統計データ

まず、以下に掲載している図表に関し、ご説明申し上げます。

図表1は、ロシア連邦国家統計局の資料にもとづき、2011年のロシアの原油（ガスコンデンセートを含む）生産量を、連邦管区および地域別にブレイクダウンしたものである。周知のようにロシア石油産業の圧倒的な中心はチュメニ州、なかんずくハンティ・マンシ自治管区であるが、ここでは資源の枯渇が進んでおり、2011年にも減産を記録した。他方、